

7 河川空間の利用状況

鶴見川流域の河川空間は、都市における貴重なオープンスペース・自然空間として、流域に住む人々に安らぎや潤いの場を提供すると共に、レクリエーション・スポーツ活動の場など、様々な用途に利用されている。また、市民・市民団体・企業・行政が連携する「ふれあって鶴見川」のイベントが年間を通して流域の各所で開催されている。



写真 7-1-1 「ふれあって鶴見川」イベント 出典：京浜河川事務所

利用状況としては、特に堤防天端を利用したサイクリングや散策などが多いことが挙げられ、また、矢上川合流付近～落合川合流付近(7～20km)にみられる高水敷では、各種イベントやスポーツ・レクリエーション等の利用がみられる。

一方、水面利用としては、ハゼなどの釣りが行われているほか、水深のある下流部を中心にボートやカヌーなどの利用が行なわれている。



写真 7-1-2 河川プロムナード 出典：京浜河川事務所



写真 7-1-4
釣りを楽しむ人々(芦穂橋上流左岸)
出典：京浜河川事務所

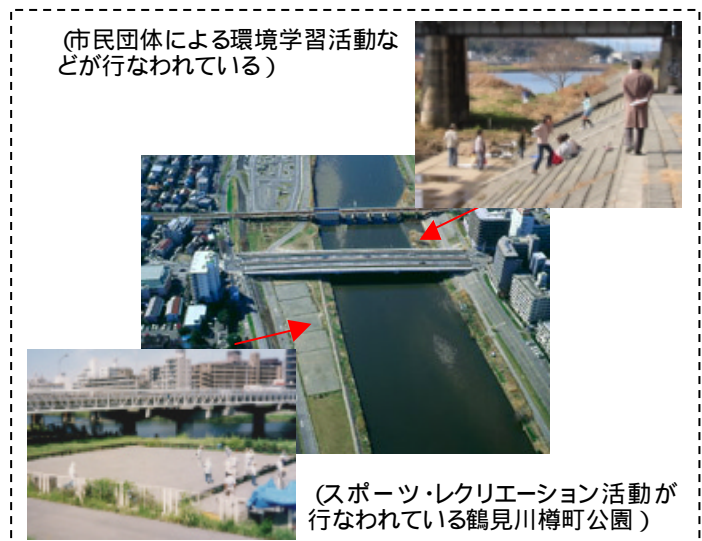


写真 7-1-3 9.0km 付近の状況 出典：京浜河川事務所

平成 12 年度(2000 年度)の河川水辺の国勢調査の「空間利用実態調査」をみると、散策の利用者数(55.2 万人/年/k m²)が全国 1 位であり、必ずしも広いと言えない河川空間が、高度に利用されていることが伺える。

表 7-1-1 河川の利用状況

単位：万人/年/km²

順位	総合		散策等		スポーツ		釣り		水遊び	
1	十勝川	102.7	鶴見川	55.2	十勝川	44.8	大和川	3.4	十勝川	11.6
2	鶴見川	65.9	十勝川	43.2	多摩川	15.8	物部川	3.1	小瀬川	4.4
3	多摩川	53.0	多摩川	33.6	荒川(関東)	12.8	十勝川	3.1	櫛田川	4.0
4	矢作川	31.6	矢作川	21.2	矢作川	8.1	相模川	2.5	雲出川	3.7
5	相模川	27.6	太田川	18.3	相模川	7.7	鶴見川	2.5	相模川	3.6
6	荒川(関東)	25.2	相模川	13.7	大井川	7.6	馬淵川	2.3	仁淀川	3.0
7	太田川	24.4	大和川	12.5	白川	7.4	多摩川	1.8	太田川	2.6
8	大和川	21.1	荒川(関東)	11.1	旭川	7.1	狩野川	1.7	高津川	2.2
9	白川	18.2	白川	8.9	富士川	6.5	梯川	1.5	物部川	2.1
10	安倍川	15.5	狩野川	8.5	鶴見川	6.2	遠賀川	1.5	鶴見川	2.0
109	水系平均	7.5		4.2		1.9		0.6		0.8

出典：国土交通省 河川空間利用実態調査(平成 12 年)

近年では、小学校などの総合学習や、環境学習の場としても多いに活用されている。

また、水辺空間がもたらすヒートアイランド現象の緩和や震災・火災時の延焼遮断機能、消防水利、避難空間としての役割など、“密集した市街地を流れる川”ならではの多種多様な役割が期待されるようになっている。



写真 7-1-5 梅田川水辺の楽校
出典：京浜河川事務所